



令和元年度 第1回中部支部学術セミナー

テーマ 『医療法改定！どうなる？どうする？線量管理！』

平成31年3月の医療法施行規則の改定により、令和2年より医療現場で線量管理が義務付けられます。そこで今回は線量管理をテーマに行政の動向、各モダリティでどのような線量管理が必要になるのかについて学びたいと思います。皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

Program

司会 金沢大学附属病院 能登 公也

特別講演 【13:35～14:35】

座長 名古屋市立大学病院 國友 博史

『診療用放射線に関する厚生労働省の最近の動向について』

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター統括診療部放射線診療部 北村 秀秋 先生
(前 厚生労働省医政局地域医療計画課)

技術講演 【14:45～16:50】

座長 藤田医科大学 小林 正尚

『線量管理システムに必要な医療情報の基礎知識』

福井大学医学部附属病院放射線部 大谷 友梨子 先生

『CTの線量管理について考えよう』

京都大学医学部附属病院放射線部 小泉 幸司 先生

『法令改訂で求められる血管造影の線量管理』

順天堂大学保健医療学部診療放射線学科 坂本 肇 先生

『核医学における線量管理』

群馬パース大学保健科学部放射線学科 渡邊 浩 先生

令和元年

6月8日(土)

会場：石川県地場産業振興センター
本館2F 第1研修室

会費：会員・学生* 無料 (非会員 1000円)
*社会人大学院生を除く

時間：13:30～17:00

公益社団法人

日本放射線技術学会 中部支部